

野田 九条通信

2007年9月号

No.22

「野田・九条の会」事務局

TEL 7122-0502

野田九条の会ホームページ
http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/

後援拒否問題で逆に注目!

あふれる熱気 平和のための戦争展

8月18日～19日中央公民館は戦争の悲惨さを訴え、平和を願う市民で終日にぎわいました。

前号ですでお伝えしたとおり、九条の会のアピールがあるということ、施行もされていない国民投票法の先取りをし、「後援」を拒否した野田市。これにはマスコミも唖然。各新聞も取り上

げ、NHKもしつかり取材にきました。実行委員会では、終了後すぐに文書で抗議しました。

18日のカメラマン郡山総一郎さんの講演では、日本人によるアジアやアラブの人々への差別意識が今も厳然とあることなど、外から見た日本の姿が話され、その後活発な座談会となりました。

そのほか戦争の語り部、映画、お国言葉での憲法解釈、うた、朗読劇など多彩な催しでした。

会議室では実行委員の調査と学習による展示物にあわせ、市民の平和への思いをつづった一口ボードは100枚以上も集まりました。ロビーでは悲惨な原爆被害の写真、関綾子さんの戦争を描いた

講演会は11月23日

わかりやすい憲法の話で、さすがは司法試験受験界のカリスマと、全国で引つ張りだこの伊藤真さんが来ます。会場等は9月中に決めます。

九条への想い

高校の時、英語の授業でリンカーン大統領のゲティスバーグの演説を習った。それまではリンカーンさんが「人民の人民による人民のための政治をしましょう」と言っているのだと思っていたが、そういう政治がこの地球からなくならないようにすることが生き

リンカーン演説と第九条

野田・九条の会賛同者 藤代 秀子

残った者の仕事であり、戦死者の死を無駄にしないことだというようなことが主旨だと知り、胸を打たれた記憶がある。憲法前文にも織り込まれていることは最近知ったが、大切なのはそれを守ることなのだ。周りの大人達から戦争

はこりごりだ、二度とほしくないという事を聞かされて育ったので、戦争をしないということはあまりにも当たり前のことではなく、憲法精神そのものだと思う。平和を守ること、そして国民の、国民のための、国民による政治をなくさないことは、生きているわれわれの義務であると、今、切実に思う。

「九条への想い」への400字程度の原稿をお待ちしています。

ご参加ください

- ☆ 九条の会9月定例会 9月8日(土)PM 2時～櫻のホール4階研修室
- ☆ 九条署名活動 9月9日(日)PM 5時～6時 ヨークマート川間南店前
- ☆ 憲法制定過程の映画「日本の青空」上映会
9月22日(土) ①10時30分～、②14時～ 流山文化会館
チケット 前売り大人1000円 当日1,500円 高校生800円
(前売り券 野田・九条の会でも扱っています)